

楓教育会第3回役員会開催！

令和5年3月11日（土）14：00より、第3回役員会が柴田会館1階会議室で開催されました。役員会を始める前に、故山田浩治副会長を偲んで黙禱が捧げられました。

総合司会は清水真常任理事が行い、議事録署名人は杉浦雅人常任理事が担当しました。

開会の言葉では、逢見百樹副会長は「コロナ収束に向かう中ですが、令和5年度総会に向けてしっかりと話し合いましょう」と挨拶されました。

田代和正会長は、「コロナ後に向かう中、汗が出るほどの快晴ですね。山田先生がご逝去されたことは極めて残念なことです。当会のため、同窓会のために尽力されたそのご功績は大きなものでした。本日は東日本大震災12年目です。令和5年度より教職支援アドバイザーとして、常任理事の清水真先生、菅野潤一先生が着任します」と挨拶されました。議事では、田代和正会長が議長を務めました。



第1号議案令和4年度事業総括では、「コロナ禍の真っ只中でしたが、楓教育会創立20周年記念式典を無事に開催できたことがよかった。また、課題として、面接練習・研修会に参加できない状況が4年続いているので復活させて欲しい。首都圏・関東地区代表者会を開催できなかった」と協議されました。

第2号議案令和5年度事業計画及び役員（案）では、会員より「面接練習・研修会では、対面ができるようになったので講師として参加できるよう4年ぶりの復活をお願いしたい。卒業生として後輩のためにできることは誇りである」と要望がありました。田代和正会長は「面接練習会に楓教育会の会員が講師として参加できるよう大学をお願いしたい」と話されました。令和5年度楓教育会役員（案）では、山田先生ご逝去などに伴う役員補充について、意見が交換されました。

その他として、会員拡大について「首都圏・関東地区代表者会の開催や同窓会東京支部との交流を深めたい」と提案がありました。田代和正会長は「各都道府県代表の名簿作成は同窓会のご支援を頂いて実現した。さらに、令和5年度総会終了後は同窓会東京支部と一緒に懇親会を開催し交流を深めたい」と方針が示されました。

報告では、庄子真也副理事長より、ホームページ利用拡大の方策として、紙ベースからデータベースに移し、事務軽減を図り費用を抑えることができると提案されました。

楓教育会だより第13～15号の発行について、提案されました。

閉会の言葉では、足立和明副会長は「教職支援室開設10年を迎えます。今後、コロナ以前のように学校現場・即戦力の視点からの現役の管理職や身近な若い教員が面接練習会に参加できるような仕組みの復活を望みたい。楓教育会の活動は素晴らしいと高く評価されるようにして参りたい」と挨拶されました。

